

千葉大学 「理系女性教員キャリア支援プログラム」

【事業概要】

千葉大学では、以下の3つのシステム改革により、研究教育活動に対して意欲を持つ優秀な女性研究者の採用・養成を加速し、大学全体の教育研究の活性化及び男女共同参画意欲醸成の組織的促進を目指している。具体的には、3年目（H24年度）終了時までには新規養成女性研究者を11名、5年目（H26年度）終了時までには18名採用し、本学における女性研究者比率を3年目終了時に機関全体で18%、理系全体で9%、5年目終了時に全体で19%、理系で10%にすることが目標である。

<システム改革>

- ① 理系定年退職ポストを2年間前倒し、「女性枠設定」による公募の仕組みを設定。
- ② 採用・養成に女性の視点を反映し、多角的評価による採用を実現するため、各部局の選考委員会に、本プログラムに関わる女性研究者1名以上を含める審査の実施を義務化。
- ③ 研究支援要員の配置（大学自主経費）や、研究スキルアップ支援により、理系女性研究者のスキルアップを図り、上位職位に必要な能力を育成する仕組みを構築。

【実施成果】

本学では、理系対象部局が積極的に採用活動に取り組み、各部局の選考委員会に、本プログラムに関わる女性研究者1名以上を含める審査を実施した結果、**H26年10月時点で目標を1名上回る19名の優秀な理系女性研究者を採用することができ、H26年度の女性研究者比率は機関全体で19.5%、理系全体で9.4%**となった。新規養成女性研究者の採用では、19名中11名を各年4月に採用できたことで、各部局の人員に余裕が生まれ、採用した女性研究者に対して、メンターの指導・助言のもと、常勤職として必要となる能力を無理なく育成することができた。これは、①の2年間前倒し採用という独自の仕組みが、有効に機能した結果である。さらに新規養成女性研究者自身も、③の支援を活かして積極的に外部資金を獲得し、着任後早い段階で自立した研究体制を構築できている。また、既在籍理系女性教員も各種支援により、上位職位へチャレンジする意欲向上や、研究活動に対する活力向上という成果が表れてきている。このようにシステム改革が有効に機能したことで、本事業に対する学内の理解向上や、男女共同参画意識が醸成され、学部長選挙による医学薬学府初の女性学部長の誕生（H23年度）、理系部局初の女性研究科長の誕生（H25年度）、工学系初の女性教授2名（H25年度・既在籍理系女性教員の准教授からの昇進）の誕生、女性副学長（園芸学研究科教授）の誕生（H26年度）へと波及している。

【本事業の継続と発展】

本プログラムは、今年度で事業終了を迎えるが、今後もシステム改革をさらに加速するために、H25年度には外部評価委員による評価を実施し、その結果を報告書にまとめて公表した。さらに、「プログラム終了後10年経過するまでに、本学における女性研究者比率を、理系分野で12%、全体で20%以上にする」という新たな目標も設定。H28年度からは、理工農学系分野の部局が、対象を女性に限定して募集・採用を行う場合、本部への申請によって教員ポストの1年間前倒しの採用を認める新たな制度を導入する予定である。

【連絡先】 千葉大学 運営基盤機構 理系女性教員キャリア支援部門

TEL : 043-290-2020 FAX : 043-290-2020 E-mail : womensupports@office.chiba-u.jp

URL : <http://www.womensupport.chiba-u.jp/>

システム改革による成果 —H26年度(事業5年目最終年度)の実績—

【公募】 定年ポスト2年間前倒しによる「女性枠」設定

- 積極的早期公募により採用目標 18名を1名上回る 19名の優秀な理系女性研究者を採用

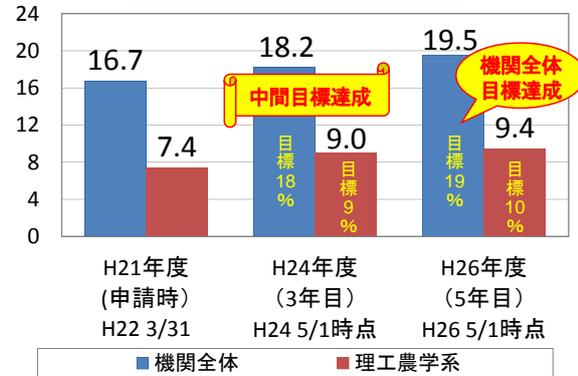
【審査・採用】 女性の視点を反映し、優秀な人材を採用

- 選考委員会に女性教員1名以上の参加を義務化
- 男女共同参画の理念に沿った公正な評価

【養成】 上位職位に必要な能力を養成

- 学内外のメンターの指導・助言のもと、常勤職として必要となる能力を無理なく育成
- スキルアップセミナー、研究助成により能力育成
⇒ 既在籍理系女性教員6名昇進(うち2名が教授へ)
初の理系女性副学長、工学系女性教授2名誕生

女性教員在籍者比率(%)



【強化】 理工農学系部局の連携

- 理系女性教員比率向上の決意表明
- 理系女性教員採用選考基準を議論
- 目標達成に向けて連携・情報共有

千葉大学AGSST

(Association of Graduate Schools of Science and Technology)

理学研究科 工学研究科 融合科学研究科 園芸学研究科

“男女共同参画”に係わる共同宣言(H22年3月) 月1回会議開催:各研究科長が参加

PDCAサイクルにより着実に目標を達成！—5年間の取り組み—

Plan (H21年度)

5年後の目標設定
システム改革スタート

Do (H22年度以降)

優秀な理系女性研究者
の積極採用・養成

Check (H24年度以降)

外部評価委員による
取組の評価

Act (H25-26年度)

評価に基づく改善と
目標達成に向けた取組

さらなる事業の継続・発展に向けて —現在の取り組みと事業終了後の計画—

理系女性の活躍促進セミナー開催

千葉大学と千葉県男女共同参画センターとの共催セミナー
「理系で学ぶ、理系を活かす！～理系女性の活躍促進のために～」

日時: 平成26年10月29日(水) 13:30-16:30 (13:00受付開始)
場所: 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館1階 大ホール

【主なプログラム】

- ◆基調講演 「理系で学ぶ、理系を活かす！」
平田(河野)典子 日本大学理工学部数学科教授
- ◆パネルディスカッション
「理系分野で女性の活躍を促進するために必要なこと」



新Plan (H28年度～)

【新・数値目標】

理系女性比率 **12%** 達成へ

新PDCA
の実践

本部

定年ポスト1年間前倒しによる
理系女性教員採用ポスト設定

理系女性研究者採用希望部局に
ポストを貸出(年間1ポスト(教授相当))